であり、保護者・生徒の部活動の一番の関心事が活動時間であると考えられる。朝7時から朝練をして、最終下校時刻ぎりぎりまで練習し、また土日も朝早くから夜遅くまで活動しているところもあるようだが、実態や指導方法等をどのように把握しているのか。

答 学校長のもとで部活動顧問者会議を行い、指導方針や共通の約束事の確認など組織的に行っている。放課後や早朝の練習時間、またテスト期間中や長期休業中の活動、指導者不在時の約束事を細部に示して確認を行い、保護者向け資料としても配布している。また活動報告等で学校長も最終確認を行っている。

問 新聞記事のアンケートに週7日の部活動はくたくたになるという意見や、楽しくて時間が短く感じるという意見など様々な意見があるが、長時間の部活動は色んな意味で弊害が出ていると思うが、部活動や指導者についての苦情とその対応は。

答 価値観が多様化する中で、生徒や保護者が部活動に求める声は様々であり、結果を出すことに価値を見出す人もいれば、趣味の延長と考える人もいる。要望を大切に聞きながらも、指導方針や方法について具体的に説明し、理解や協力をいただいている。

問 クラブ活動の指導者への研修等をしているか。

答 指導方法や安全配慮等について、中学校体育連盟のもとで各部活動ごとに研修を行ったり、練習試合の際に指導法をお互いに学び合ったりして指導の充実に努めている。

問 昨年末に中央教育審議会で外部指導者を学校職員である指導員という形で法令に明記すれば顧問ができるという方向を示す答申がされた、また教員・生徒の負担減の動きもあるが、総合型スポーツクラブとの連携など今後の部活動のあり方についての考えは。

答 部活動の実施は指導者や入部者等を考慮して学校が総合的に判断しているが、市内総合型スポーツクラブとの連携も視野に入れ、また部活の休養日の設定などの国の動向にも注視し、学校教育の一環として生きる力の育成、楽しく豊かな学校生活の実現に有意義なものとなるように進めていきたい。

問 組体操の事故について文科省は本年2月、学校独自に判断すべき問題としていたものを文科省として取り組むべき問題としたが、運動会、とくに組体操の市内小学校、中学校での事故件数は。

答 組体操での事故は平成26年度に捻挫1件、平成27年度に打撲1件であった。

問 4月18日に県教委から組体操「ピラミッド」「タワー」を不適切と指摘し、実施は学校の判断という難しい通知が出たが、市教委はどう対応したか。

答 本年3月に国から「組体操等による事故の防止」の通知を受け、県教委から4月18日付で「組体操の安全な実施について」通知が来た。その中で組体操については伝統や達成感、連帯感という理由だけでなく、実施する目的を明確にすることなどがうたわれている。市教委では、実施計画書を作成して目的、内容等を関係者で共有し、安全確保の取り組みをすること等を4月21日付で各学校に通知し、校長会等でも説明した。

問 既に運動会が実施された学校での対応は。

答 4月21日通知の後、小学校2校で運動会があり、1校は組体操を中止してダンスの表現運動をし、1校は安全に配慮して組体操を実施した。

問 学校の独自性を尊重し、応援していきたい、この通知が来たときに教育長は現場の先生を後押しする考えだったようだが、考えを聞きたい。

答 全てのスポーツは何らかの危険が伴うが、そのリスクの軽減には全力で努めなければならない。その上で、運動会の高揚感、達成感を得る機会を提供することは教員の務めであり、大人の知恵であると思っているので、規制も必要だが、大人が大きな目で見るべきという思いがある。

学校施設（トイレ改修）

問 本年3月議会でかしはら元気っ子基金条例が制定されたが、基金設立に至る経緯は。

答 2月24日付で三和澱粉工業株式会社から、本市の教育振興のために2億円の寄附金をいただき、この適正管理と学校施設整備などのために本基金を創設した。

問 まずトイレ改修に着手したが、その理由と改修内容は。

答 平成27年度まで耐震化工事を中心に行なってきたが、その間にトイレ等の要望が出てきたため、毎年数カ所ずつ実施していたものを前倒しして今年度と来年度に実施する。各小中学校の各棟各フロアの男女1カ所ずつにスロープ・手すり等を設けた障がい者対応の洋式トイレを整備する。今年度は30基、来年度は40基の整備を予定している。

問 今回の寄付を子ども、教職員、保護者等に伝えてもらいたいが、周知の方法は。

答 教職員、保護者等に工事前に配布する「工事のお知らせ」の中で、同社からの寄附金で整備する旨を記載し、また校長会を通じても周知していきたい。またトイレブースの中に、寄附金で整備した旨のプレートを設置するなどを検討しているが、同社の意向も確認して実施したい。

問 今回の寄附と教育施設整備についての市長の考えは。

答 かしはら元気っ子基金は念願であったトイレ整備に使い、またこれからも大切に使いたい。小学校3年生の市役所見学でトイレ整備のことを